

農作物技術情報 第9号 畑作物

発行日 令和7年11月27日

発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ 小麦 雪腐病の発生量は「並」と予報されていますが、雪腐病の常発地帯では、雪腐病の種類に応じた防除を必ず実施しましょう。越冬後の融雪対策のため、排水路の点検、整備を行いましょう。

小麦

1 生育状況等

は種後は平年より気温が高く経過し初期生育が良好だったため、10月後半以降やや低温で経過しましたが、生育量は概ね確保されています。

越冬後には追肥や踏圧を適期に実施できるよう、排水路の点検・整備による排水対策を万全にし、赤かび病に強い健全な麦の栽培に努めてください。

2 雪腐病の防除

農作物病虫害発生予察情報第7号（令和7年10月31日発行）によると、雪腐病の発生量は「並」と予報されていますが、例年発生するほ場や、県北部や高標高地帯などの根雪期間が長い地域、耐寒雪性が「やや弱」の「銀河のちから」及び「ナンプキラリ」は被害が発生しやすいので、雪腐病防除を行ってください。雪腐病の防除時期は根雪前が最も有効とされていますが、根雪になる時期は年によって変動が大きいので、散布時期を逃さないよう注意が必要です。薬剤等の情報は農作物技術情報第8号畑作物（令和7年10月30日発行）に掲載されていますのでご覧ください。



写真1 雪腐褐色小粒菌核病の被害ほ場

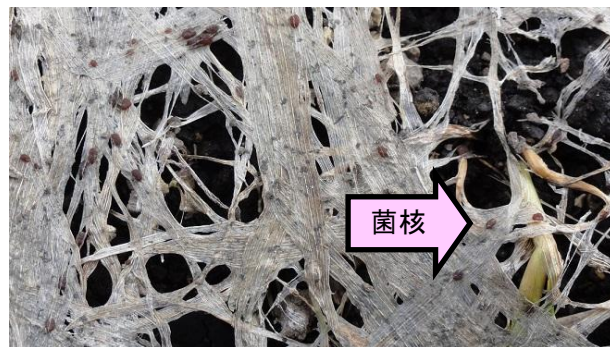


写真2 雪腐褐色小粒菌核病の拡大写真

3 排水路の点検

越冬後の融雪水による湿害等を防ぐため、根雪前に明きょや排水路の点検・整備を行います。土塊等で塞がっている場合は、スムーズに排水が行われるよう土塊を撤去してください。

また、越冬後のほ場排水を促すことで、融雪期の追肥作業等も適期に実施できます。

※ 暗きょ排水は、水田を乾かすための排水施設ですが、排水パイプの周囲に疎水材として埋められているモミガラは、乾湿を繰り返すことで腐食が進み通水性が悪化しやすくなります。このため、小麦などの冬作物が作付けされていないほ場では、モミガラを長持ちさせるため冬期間は暗きょの^{すいこう}水閘を閉じておきます。

また、融雪水がたまったら水閘^{すいこう}を開き、一気に水を流すことで堆積した水あかや土砂を押し出すことができますので、暗きょ排水管が詰まらないよう定期的に清掃してください。なお、暗きょ排水口が排水路の水面より下にある場合や、排水路にたまった泥に埋まる状態では、水が抜け難くなりますので、排水路の清掃も適切に行ってください。

4 積雪期間中の注意

小麦栽培では、積雪期間中の作業は特にありません。積雪のあるほ場は滑りやすい上に、水路等の確認が難しく危険ですので、必要時以外は立ち入らないようにしてください。

なお、雪解けが近づいたら、雪解け後の作業スケジュールを早いうちから計画します。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となりますが、気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
--

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。
